

平成30年度の重点的な取組に対する対応について

(1) 地域や本県産業を担う人材の育成

- ① 「やまぐち型地域連携教育」を通じた、社会全体で子どもの育ちを支える環境づくりの推進や、学校を核とした人づくり・地域づくりに向けて、全ての公立小・中学校で導入済みのコミュニティ・スクールの取組の一層の充実と県立学校への導入を推進

【取組の現状】

《小・中学校におけるコミュニティ・スクールの取組の一層の充実》

- 各学校・地域における取組の充実に向けた助言・支援を行う「地域連携教育アドバイザー」を配置し、アドバイザー及び県立学校の取組に対する助言・支援を行う「地域連携エキスパート」を派遣。

また、地域と学校が協働して行う活動を円滑かつ効果的に実施できるよう、コーディネーターの養成、家庭教育支援チームの設置を促進。

(地域教育力日本一推進事業)

《高校へのコミュニティ・スクールの導入の推進》

- 今年度新たに県立高校16校にコミュニティ・スクールを導入し、各学校・学科の特色に応じた、地域の期待に応える高校ならではの取組を推進。

(高校コミュニティ・スクール推進事業)

《全ての総合支援学校へのコミュニティ・スクールの導入の推進》

- 今年度4校にコミュニティ・スクールを導入し、全国に先駆けて全ての総合支援学校への導入を完了。

(特別支援学校コミュニティ・スクール充実事業)

【課題及び今後の対応】

- ◆ 市町の主体的・自立的な取組が進むよう「地域連携教育アドバイザー」等による働きかけを強めるとともに、担当者研修等の一層の充実を図る。
- ◆ 養成講座修了者の活躍の場を創出するとともに、中学校区単位での家庭教育支援チームの設置を促進し、地域における支援体制の充実を図る。
- ◆ 平成32年度までに全ての県立高校にコミュニティ・スクールを導入し、企業や大学等との連携による学校・地域の課題解決に向けた取組の充実を図る。
- ◆ 総合支援学校と、小・中・高等学校等とのコミュニティ・スクールの連携による交流及び共同学習を推進し、障害者理解の一層の促進を図る。

- ② ふるさとやまぐちを愛する心を育て、定住意識の醸成につながるよう、明治 150 年を契機とするふるさと学習の推進等、郷土の理解や誇り等を育む教育を推進

【取組の現状】

《明治 150 年を契機とするふるさと学習の推進》

- 小・中・高等学校等で明治 150 年を契機とした「明治 150 年文化財記念講座」などのふるさと学習や学習支援を行う WEB サイト「山口県の文化財」の充実を実施。
(地域とともに歩む文化財資源総合保存活用推進事業)

《「やまぐち子どもふるさとサミット」の開催》

- 県内の小学生の代表者が地域の魅力の発表や意見交流を行うことで、ふるさと山口県の魅力を再発見するとともに、ふるさとを愛する心を育成(平成 30 年 9 月 29 日(土)、山口ゆめ花博会場にて開催予定)。
(地域教育力日本一推進事業 (再掲))

《子どもたちの「志」の醸成と「行動力」の育成》

- 先人の立志やチャレンジ精神等を現地学習や専門家の説明等を通じて学ぶ「三世代交流教育講座」や「ふるさと学習ツアー」の開催、山口県セミナーパークに設置した「先人学習コーナー」や WEB サイトによる情報提供等を実施。
(「平成の松下村塾」づくり推進事業)

《「やまぐち未来維新塾」の開催》

- 下関・山口の 2 会場において、知事との対話セッションや講師による講義を通じ、志、行動力、チャレンジ精神等の重要性を学ぶとともに、各自の「志」の理解を促進。1泊2日のキャンプにおいて、講義・グループワークを通じ、望むべき社会やその実現に向けたプランを検討。
(明治 150 年記念 未来へ繋ぐ人材育成事業)

【課題及び今後の対応】

- ◆ 「明治 150 年文化財記念講座」の募集を各学校の行事予定が決まる前に行うなど工夫し、実施校の拡大を図るとともに、WEB サイトの利便性の向上を図る。
- ◆ 「やまぐち子どもふるさとサミット」の事業効果の普及、共有を図るため、学校や地域、市町への発表内容の効果的な周知方法等を検討する。
- ◆ 女性・若者を含む先人の掘り起しを進めるとともに、講座や WEB ページ等の充実、現存資料の活用を図る。
- ◆ 「やまぐち未来維新塾」のグループで考案したプランについて、様々な者との意見交換等を通じ、新たなアイデアを取り込むなど、プラン実現に向けた取組を一層推進していく。

- ③ 児童生徒が新たな時代の変化に対応し、自らの未来を主体的に切り拓いていけるよう、確かな学力の育成など、新学習指導要領に対応した教育を充実

【取組の現状】

≪次世代型教育の推進≫

- 7校の県立高等学校を研究指定校に指定し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導方法や評価方法の開発を実施。

(やまぐち次世代型教育推進事業)

≪「宇宙」を教材とした教育活動の実施≫

- JAXA との連携等による、「宇宙」を素材にした授業支援による課題解決的な学習の展開や、小学校・中学校・高等学校教員を対象とした「宇宙」を教材とした授業づくりの研修、子どもとその家族を対象とした「宇宙の学校」や地域の指導者を育成する「大人版宇宙の学校」等を開催。

(JAXA・やまぐち宇宙教育推進事業)

≪新学習指導要領に対応した学習指導の実施≫

- 小学校における英語教育の教科化に伴う英語専科教員（14人）を配置。

(小学校英語専科教員の配置)

【課題及び今後の対応】

- ◆ 教科ごとに得られた効果的な指導方法を教科の枠を越えて共有していくとともに、教科横断的な内容についても指導方法の研究の充実に取り組む。
- ◆ 探究活動を充実させるためのノウハウの JAXA 連携校以外への普及や、教科横断的な視点に立った研修講座の一層の充実、宇宙を素材とした社会教育活動の展開及び指導者の養成等に取り組む。
- ◆ 国の定数改善に応じて小学校英語専科教員の配置を拡充する。

- ④ 様々な入学動機や学習歴を持つ生徒の多様な学びのニーズに対応するため、多部制定時制高校の設置を推進

【取組の現状】

≪多様な学びのニーズへの対応≫

- 県西部多部制定時制高校（下関双葉高校）の設置
(下関中央工業高校跡地に、昼間・夜間の2部制で、普通・工業・商業系列をもつ総合学科を設置するための施設整備及び開校準備を実施)
- 県央部多部制定時制高校の設置
(新山口駅周辺に午前部、午後部、夜間部を併せ持つ3部制の多部制定時制高校を設置するための設計等を実施)

(県立学校施設整備事業)

【課題及び今後の対応】

- ◆ 県西部多部制定時制高校（下関双葉高校）について、平成31年4月の開校に向け、柔軟な教育システムを持つ学校づくりを目指した具体的な準備を進めていく。
- ◆ 県央部多部制定時制高校の整備を促進するとともに、山口市拠点施設機能との連携について、今後検討していく。

(2) 若者の県内定着・還流の促進

- ① 高校生の県内就職促進や地域産業を担う将来のスペシャリストの育成を図るため、県内企業の情報発信やマッチングの強化、大学・地元企業等との連携強化による実践的な職業教育や、全国産業教育フェアの成功に向けた取組を推進

【取組の現状】

《高校生の県内就職の促進》

- 県内企業と学校の進路指導担当者等との面談による情報交換や、県内就職した卒業生と高校生との座談会など、県内企業の魅力や県内就職のよさを高校生等に伝える取組を推進。

（やまぐちの活力を支える高校生就職支援事業）

《「全国産業教育フェア山口大会」の開催》

- 本県の専門高校生の特色ある教育活動や魅力とともに生徒一人ひとりが活躍する姿を全国に発信（平成30年10月20日（土）～21日（日）開催予定）。

（全国産業教育フェア山口大会開催事業）

【課題及び今後の対応】

- ◆ 本県の高校卒業生の県内就職率は80%程度であるため、「ガイダンスの充実」「求人開拓の強化」「マッチングの促進」を3つの柱とし、高校生の主体的な県内就職を一層促進する。
- ◆ 全国産業教育フェア山口大会における取組をとおして、高校生の積極性やチャレンジ精神を養うとともに、実践力や創造力等を向上させ、本県産業を担う人材育成を図る。

- ② 高校生が主体的な選択により行う県内大学等への進路選択を支援するため、県と大学等との連携強化や高大連携による相互交流を推進

【取組の現状】

≪県内大学等への進路選択の支援≫

- 県内大学生等と高校生とのディスカッションの実施やオープンキャンパスへの参加など、高校生が県内大学等の魅力やよさについて理解を深める取組を実施。
- 「大学リーグやまぐち」等と連携し、県内大学・専修学校等のオープンキャンパスの日程等を取りまとめた「オープンキャンパスマップ」を作成し、県内高校等の学生・保護者などを対象に配布。

また、今後、県内大学・専修学校等の魅力や進学情報を取りまとめた「県内進学ガイドブック」を作成し、県内高校等の学生・保護者などを対象に配布。

さらに、県内進学を促進するため、県内高校生が大学や仕事の魅力等を一度に体験できる「県内進学・仕事魅力発信フェア」を、県内大学等と一体となって開催。

(やまぐちの未来へつなぐ高大連携事業)

【課題及び今後の対応】

- ◆ 大学リーグやまぐちや産学公と連携して、高校生の県内進学や大学生の県内就職に向けた取組の更なる推進を図るとともに、県内大学等に加え、県内専修学校等との連携を幅広く推進する。
- ◆ 県内大学等の魅力等について、県内高校生や保護者などの理解をより一層深める必要があるため、既存の取組を含め、様々な方法により情報発信していく。

- ③ 大学生等の県内就職・定着の促進に向け、COCプラス事業や「大学リーグやまぐち」との連携、県外大学との就職支援協定や高校卒業時の登録制度などを通じて、大学や学生と県内企業との連携を強化し、本県企業の特徴や魅力を学生に直接伝える機会を拡大

【取組の現状】

≪県内企業の魅力発信≫

- 「COCプラス」等と連携し、若者と県内企業のマッチング支援のため、大学生等を対象とした「山口きらめき企業の魅力発見フェア」を開催（平成30年11月3日（土）開催予定）。

(山口で学び、活躍する人材育成支援事業)

- 企業PR動画「発見！山口きらりカンパニー」のYouTube等への掲載や、県内大学生等による企業研究・体験をまとめた「山口県の元気企業レポート」等により、県内企業の効果的な魅力情報を発信。

(やまぐち中小企業魅力情報発信！若者定着促進事業)

《インターンシップの促進》

- 企業と学生のマッチングやインターンシップ参加学生の旅費等の助成などに加え、インターンシップに関するガイダンスや県外の就職支援協定締結校での説明会を新たに実施する等、インターンシップへの参加促進に向けた取組を実施。

(やまぐちインターンシップ等総合推進事業)

- 長期体験型インターンシップ等の推進を図るため、就業体験支援員を配置。

(山口で学び、活躍する人材育成支援事業)

《県内就職・職場定着の促進》

- 高校卒業時及び就職支援協定に基づく県外大学との連携による、県内外の求職者の山口しごとセンターへの積極的な登録を促進。

- 山口と東京の生活を比較した「就職するなら山口県！やまぐちライフデザイン設計書」を配布。

- 若年者の職場定着に向け、山口労働局と連携し、内定者や入社3年目までの者を対象とした職場定着支援セミナーを開催。

(若者就職支援センター管理運営費、県内就職・人材確保支援強化事業)

《地域が必要とする人材の輩出・育成》

- 課題解決型の教育プログラム実施に向け、コーディネーターによる取組手法やプロジェクトイメージ等に係る教員向け説明会や課題解決型の教育プログラムの基本を学生が理解するための講座内容を検討する会議を開催。

(明治150年記念 未来へ繋ぐ人材育成事業)

【課題及び今後の対応】

- ◆ 売り手市場の中、インターンシップ受入希望事業所数は増加した一方で、申込学生は減少しており、今後、春季インターンシップの期間の短縮や、やまぐちインターンシップフェスタの開催を通じて、参加学生の増加を図る。
- ◆ 県内就職・定着を促進するため、引き続き、県内外の学生に対して、県内企業の魅力や就職関連情報等を、様々な方法により周知する必要がある。
- ◆ 民間や教育関係者等への課題解決型の教育プログラムの普及啓発を図りながら、教育機関と企業とのマッチングを進めていく。

④ 障害のある生徒の自立と社会参加に向けた特別支援教育の充実

【取組の現状】

《特別支援学校技能検定「きらめき検定」の実施》

- 昨年度実施済みの2部門(喫茶サービス、清掃)に加え、残る3部門(食品加工、介護、流通・サービス)で本検定を実施。

(特別支援学校「きらめき検定」開発事業)

《特別支援学校におけるスポーツ活動等の推進》

- 障害のある児童生徒がスポーツに親しむ環境の整備に向け、特別支援学校と地域の中学校、県立高等学校等との協議や、パラリンピアン等による講演会を実施。

(特別支援学校における障害者スポーツ充実事業)

《「高等学校における通級による指導」の実施》

- 実践研究校を中心とした「通級による指導」の実施や、講師招聘による研修会の開催、県下全域での制度運用に向けた支援体制の構築を推進。

(高等学校における特別支援教育体制整備充実事業)

【課題及び今後の対応】

- ◆ 多様な進路希望に対応するため、特別支援学校技能検定「きらめき検定」の充実とともに、小学部から中・高等部までの系統的なキャリア教育の推進を図る。
- ◆ 特別支援学校と地域の中学校、県立高等学校等とのスポーツ活動等を通じた交流及び共同活動の一層の推進を図る。
- ◆ 「通級による指導」の充実に向け、全高等学校の教職員の発達障害等への理解の促進と管理職のリーダーシップによる全校体制の整備を図る。

(3) 教育環境の整備・充実

- ① 児童生徒が安心して学習やその他の活動に取り組むことができるよう、いじめの防止や早期発見、相談支援体制を充実

【取組の現状】

《いじめに関する相談・支援体制の充実》

- スクールカウンセラーを全公立学校に配置し、全ての学校で専門的支援が行われるよう教育相談体制を整備。

スクールソーシャルワーカーを県及び全市町に配置し、生徒指導における課題解決に向けた支援を行うなど、学校の生徒指導体制を強化。

「いじめの未然防止」「自殺予防教育」に係る教員研修会や外部専門家研修会の実施等により、児童生徒支援の質の向上及び連携を強化。

(いじめ・不登校等対策強化事業)

《学校内外での重大事件、事故への対応》

- 学校内外で重大事件・事故が突発的に発生した場合、学校や市町教委の要請により、行政と関係機関の専門家で編成するサポートチームを学校に派遣。

(学校メンタルサポート事業)

【課題及び今後の対応】

- ◆ 事案の複雑化・多様化が進み、学校だけでは困難な事例が増えていることから、専門家との連携はもとより、学校、家庭、地域、関係機関等の連携による社会総がかりでの取組を推進する。
- ◆ 児童生徒の悩みやSOSを幅広く受け止めるため、これまでの教育相談体制に加え、SNS等を活用した新たな相談体制づくりなどにより児童生徒理解の深化や教育相談体制の拡充を図る。

② 学校指導・運営体制の充実や、教員自身のワーク・ライフ・バランスの推進を図るため、教員の長時間勤務の是正に向けた「学校における働き方改革」を推進

【取組の現状】

《教員の長時間勤務の是正》

- 県立学校にICカード等を導入。また、統合型校務支援システムについては、平成31年度からの順次導入に向けて準備中。

(学校における働き方改革環境整備事業)

- 学校の事務的業務を補助する学校業務支援員を10市61校(小学校27校・中学校34校)に配置。

(学校業務支援員配置事業)

《部活動の活性化及び顧問教員の負担軽減》

- 単独での部活動指導や大会への生徒引率等が可能な部活動指導員を4市町の公立中学校21校に31人、県立学校17校に22人を配置(7月現在)し、指導の充実による部活動の活性化及び顧問教員の負担を軽減。

(やまぐち部活動応援事業)

【課題及び今後の対応】

- ◆ 「山口県 学校における働き方改革加速化プラン」に沿った取組を着実に推進する。
- ◆ 公立中学校への部活動指導員配置については、今後も市町へ積極的な働きかけを行う。

③ 多発する地震等の災害に備えた安心・安全な学校づくりを推進

【取組の現状】

《学校安全の取組の推進》

- 県内7地域での学校防災研修会の開催により、「第2次山口県学校安全推進計画」の周知とともに、学校と防災担当部局等関係機関をつなぐ場を設定して、組織的な取組を強化。

- 県内3地域で防災キャンプ、2地域で通学路の安全確保に係るモデル的取組を実施して、学校安全3領域の取組を強化。

(学校安全総合推進事業)

《安全で快適な学習環境の整備》

- 安全な学習環境を整備するため、学校施設の老朽化対策や外壁改修を実施
(県立学校施設整備事業(耐震改築・老朽化対策))
- 大阪府北部の地震を踏まえ、学校施設のブロック塀等の緊急調査を実施。

【課題及び今後の対応】

- ◆ 各学校における学校安全の取組の更なる充実を図る必要があることから、優れた実践を各種研修会やWEBページ上で情報発信し周知に努める。
- ◆ 防犯対策をより強化するために、「1人登下校区間」や「見守りの空白地帯」の実態把握及び関係機関の情報共有により、組織的取組の充実を図る。
- ◆ 施設の老朽化対策について、「個別施設計画(長寿命化計画)」を策定し、計画的に整備を進める。
- ◆ 現行の建築基準法に適合していないブロック塀等について、必要な安全対策を講じる。